

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 一榮	代表者	青野 正二	法人・事業所の特徴	理念一、私たちは、笑顔と感謝と思いやりを大切にします。二、私たちは、心に寄り添うおもてなしを提供します。三、私たちは、事業を通じ地域社会に貢献いたします。行動規範 私たちは、笑顔で、明るく、元気な挨拶を励行します。私たちは、心と体にある『生きる力』で自立を支援します。私たちは、すべての事柄を、相手の立場で考え・判断します。私たちは、常に相手を尊重し、正しく誠意のある行動をします。私たちは、『報・連・相』を実行し、風通しのよい職場を作ります。
事業所名	小規模多機能いちえい保免	管理者	古川 恭子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	8人	0人	0人	2人	2人	4人	1人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を事業所内に貼り出す事で、日頃取り組みに対しての意識を高め、浮き彫りになった改善点はサービス評価を実施する際に職員間で共有してより良い計画を立案する。	見やすい場所に貼り出す事で、各自改善すべき点を、確認しやすくし、職員間で共有できやすくなりました。	皆さん全員でしっかりと自己評価に取り組みられたと思います。 出来ている点・出来ていない点、達成できた目標も多かった上でこれからの課題をしっかりと見つけられていたと思います。 出来ている点・出来ていない点、達成できた目標も多かった上でこれからの課題をしっかりと見つけられていたと思います。 具体的な改善計画も実現可能に立てられていたと思います。引き続き取り組みをお願い致します。	自己評価に関してしっかりと取り組んでいるので、初めてサービス評価を行う新規の入職者が居る際には事前にサービス評価の概要や進め方の説明を行い、常勤職員全員でサービス評価に臨む。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内・外が利用者や地域の方に過ごしやすい環境となる為に職員一人一人が工夫する。また、工夫した内容を運営推進会議内で報告する事で地域の方に事業所のしつらえや環境の把握・理解を深めていただく。	地域の傾聴ボランティアの方に来ていただいたり、施設の近所ですれ違った方に挨拶を行うようにしました。	空間自体安全に配慮された上で清潔感を保って環境整備を日々努められているんだなという風に感じました。	事業所内の環境・状況や居心地を外部の方が来所しやすいように運営推進会議を使って発信したり、外部の方が来所されている時の風景を紹介する。
C. 事業所と地域かかわり	事業所の利用について相談窓口の認知度が低いようである為、運営推進会議で窓口のお知らせ・玄関や掲示板等に相談窓口のチラシを掲載する。	通りがかりでも見えやすいように玄関の掲示板に相談窓口のチラシを掲載しました。	今年一年は公民館の活動が今までと比べると激減している。公民館長も変わって準備もできず、十分な公民館活動ができなかったという反省点がありますので、新年度からはスタッフを揃えて皆さんにご利用していただければと思います。 行事にも是非参加いただきたいと思います。	地域行事に参加する際は事業所のパンフレット等を持参して、事業所を紹介したり、見学案内をお知らせして、より多くの地域の方と関りを持てるようにする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>近隣で介護にお困りの方がいないか、運営推進会議に参加された民生委員等にお話を伺い、介護にお困りの方がいた場合には電話や面談等でアプローチを行う。</p>	<p>結果として利用には至りませんでしたでしたが、近隣住民の方から、施設利用の相談が直接ありました。</p>	<p>近所付き合いが昔と比べて激減しているのが近所の高齢者や困っている家庭の状況が分かりづらくなっている。地域の人でも高齢者がどこに住んでいるのかも分からない、隣に住んでいる人の状況すらが分からない状態。 地域にお困りの方が居たら電話や面談でアプローチしていただけるようであれば、是非包括も仲間に入れていただけたら一緒に施設等勧めていきます。 保免西の町内会の人ではあるけど、いちえい保免に話相手のボランティアが行っていると思います。外部の人と情報交換があって良いと思って私がボランティアを勧めました。介護保険の申請は増えてきています。介護保険だけでは解決しない事の方が多いので地域の方のお力が必要です。</p>	<p>近隣で介護にお困りの方からの相談を受けた際には事業所職員だけで対応するのではなく、包括支援センターにも連絡をして情報共有し、一緒に面談等のアプローチを行い、地域の方の手助けを行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>介護でお困りの地域の方にアプローチした事があれば運営推進会議内で報告し、参加者から意見や要望を聞く。</p>	<p>近隣住民の方からの相談があった事を運営推進会議で報告をしました。</p>	<p>担当者が運営推進会議に参加してみては？</p>	<p>運営推進会議に参加した事のない職員に運営推進会議の参加を依頼し、事業所の取組みや地域の取組みに関われる人材を育成していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>引き続き事業所、地域の防災訓練の際には双方に参加できるようにし、災害時には地域の方を受入れできるように可能な限り必要物の準備や職員への周知をする。</p>	<p>地域の防災訓練に参加しました。少しずつではありますが、備蓄の整理も行っています。 職員にも地域の避難所になる事を周知させています。</p>	<p>保免中の防災訓練を年2回行っているが、昨年までは1回の開催に100名近く参加してもらっていたが、今年に限って言うと極端に半減している。訓練をしておかないと万が一の時には心配になる。 災害が少ない地域ですから過信があり、色々な訓練を学ばないといざとなったらなかなか大変ですから参加の呼びかけはしている。 災害時、いちえい保免の屋上を利用させてもらえると聞いてますが、使っても良いですか？</p>	<p>事業所の防災訓練に関わる資料や訓練実施の様子等の写真を地域の防災訓練時に持参して、地域の多くの方に事業所の防災についての取組みを知っていただく。また、地域の防災訓練に参加した職員は訓練内容を事業所内で他の職員にお知らせし、相互の対応を把握する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 26 日～ 10 月 24 日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	職員 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	1 人	0 人	8 人

前回の改善計画	家族様・キーパーソンの方等が来所された時は事業所玄関で対応した職員が挨拶、近況報告をする事で関係性の構築を行い、情報収集と情報の共有はこれまで通り ICT を活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	来所対応が増えた事により関係性の構築が出来た。 ICT を活用して情報収集・共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	1	1	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	1	1	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族様が面会など来所された時に近況報告をしている。 本人が必要とする支援をしている。 家族様が来所された際、近況報告を行っている。 報告できなくても挨拶だけでも行うように努めた。 家族様が面会に来られた時、その日の様子等を伝えている。 ご家族様が来所された時に情報の共有を行っている。通いの利用者様にはノートなどを活用している。 あまり居室から出て来られない利用者様にも話に行ったり、出ている時に見かけたら挨拶をしている。 なるべく居室へ訪室するようにして本人様との会話をたくさん取るように心がけている。 前回の改善計画について、家族様等の来所時に近況報告や連絡事項等をお伝えし、家族様等から得た情報は個人ファイルへの記入や ICT を活用しての記録を行った。 本人様への声掛け。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>来所されていない家族様・キーパーソンへ電話しない為。 関わる機会がない。 関係性がしっかりとできていない。(理解が深まっていない) 今年の 7 月まで勤務日数が少なく、家族様と関わる機会が少なかったから。 利用者様の情報を熟知していないから。 職种的に家族様と関りが少ない為。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
はじめの関りとして、職員間で共有しておく事や特変事項をすぐに把握できるように、ICT を活用して申し送りに挙げ、出勤者は業務に入る前に申し送りを確認するようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月26日～ 10月24日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画	本人の目標を把握して実践した内容に関してカンファレンスで意見を出し合い、目標を見直し、1か月後のカンファレンスまで実践して再度意見を出し合い、本人の目標をより良い目標にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスでの意見や対応策を次回のカンファレンスまでに実践・反映し、対応した内容を次回のカンファレンスで再度話し合うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	1	1	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	1	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	2	1	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	2	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>個人の目標についてカンファレンスで意見を出している。 本人の目標の把握をしている。 かかわった内容をミーティングで発表し、振り返りを行っている。 カンファレンスで出た案を実践するよう意識して取り組んでいる。 カンファレンスでの話し合いを基に次のカンファレンスまでに実践し、成果を発表できている。 利用者様のニーズをカンファレンス時に職員間で共有し、具体的な策を相談できている。 1ヵ月前のカンファレンスでの議題や課題・対応策等を再確認してから日々のケアで実践を行い、当月のカンファレンスでは実践してみて浮き彫りになった課題等に的を絞って発言し、翌月の対応策等について話し合う事ができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>個々個人の関りの少ない職員がいる。 積極的にカンファレンス参加していないから。 自信がなかったから。 空いている時間帯を上手く活用できていない。 常に目標を意識しながら関わってないから。 業務の都合でカンファレンスにあまり参加できない職種の為。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の方一人一人と積極的に関り、本人の目標をより良くするためにカンファレンスで一人一つは意見を出し合い実践していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 9月 26日～ 10月 24日

3. 日常生活の支援

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画	利用者の方と関わる時間を作り、利用者に関わった内容は ICT を活用して記録に残し、何か起こった変化に対しては即時対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ICT を活用して利用者の方との関わりの記録は増えた。 利用者の方と関わる時間を持てたが、即時対応出来た事と出来なかった事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	4	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	4	1	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	2	1	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	6	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ICT活用ミーティングでその都度共有している。 本人の状況に合わせた介護ができている。 なるべく積極的に関わりを持ち、記録に残すようにした。 利用者の状況に合わせた介護を心掛けた。 食事の声掛けや介助の作業の中でも利用者の方と積極的にお話ししたり関わるよう意識している。 特変だけでなく少しの変化でも申し送りやFTを活用して共有している。また、職員間でそのことについて改善点を見つけようと努力している。 利用者様のいつもと違う様子の時はFTを活用して発言できている。 利用者に関わった事はICTを活用して記録に残した。必要に応じて写真やデータ・資料を添付した。 関わった利用者様の変化の気づき。 本人様に合う食事作り。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>業務を勧める事を優先して利用者を見ていないから。 生活環境を知るきっかけが単調(似た内容)になっており、深く掘り下げられていない。 以前の情報を確認していなかった。 どのような暮らしをしてきたかという資料を熟知していないから。 職種上、顔を合わせる機会が少ない利用者様がおられる為。 変化に対して認知症や精神疾患等の利用者があり、経過観察や対応のタイミングを見極める必要がある物事もあった為。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の方との関わりについて、経過観察と対応のタイミングを本人に合わせて、寄り添った生活支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 9月 26日～ 10月 24日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	1人	1人	8人

前回の改善計画	地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を持つとともに民生委員や地域の資源の把握・理解に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事に参加し、地域資源の把握理解に努める事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	2	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	3	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	3	1	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	3	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人と家族・介護者の関係が切れないうち支援をしている。</p> <p>本人の生活スタイルや人間関係の理解。</p> <p>地域行事に積極的に参加し、民生委員や地域資源の把握、理解に努める事ができた。</p> <p>日招神社での祭りに参加した。</p> <p>ある程度は利用者がどのように1日を過ごしているかを把握できている。</p> <p>ボランティアの人に施設に来ていただいて利用者様と傾聴してもらっている。</p> <p>地域行事に利用者の方と一緒に参加したり、職員を誘って参加できた。</p> <p>利用者様のご利用前の生活などFTによる情報共有。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>民生委員や地域資源など、具体的に何が何があるのかぼんやりとしか把握していないから。</p> <p>過ごし方の把握が似た内容になっている。(他の切り口で把握できていない)</p> <p>今年の7月まで勤務日数が少なく、家族様と関わる機会が少なかったから。</p> <p>自分の中で優先順位を決めてしまい、調べる事を後回しにしてしまっている。</p> <p>利用者様の人間関係の把握ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域行事にご家族様も利用者の方と一緒に参加できるように働きかける。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 9月 26日～ 10月 24日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	1人	2人	8人

前回の改善計画	カンファレンス参加者は受け持ち利用者以外の方の変化・気づきについて1つは発言し、情報共有・意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	発言が増えた事によって、受け持ち利用者の方以外の変化や気づきを情報共有する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	2	0	8
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	0	0	8
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	5	0	0	8
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ニーズに対応した通い・訪問ができている。 本人の状態やニーズに合わせた柔軟な支援をしている。 本人の変化に気づき、ミーティングとまでもいかずと、その時にいる職員と情報を共有している。 その時の状態を見ながら変化があれば報告して対応できている。 受け持ちの利用者以外でも気付いた事があれば積極的に発言している。 少しの変化でも気付くように心がけている。 カンファレンス時には利用者の変化を伝え意見を求めることができている。 自分が担当していない利用者の方についても発言をして意見交換を行い、課題や対応策について話し合う事ができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ニーズの対して意見交換ができていない時がある。 積極的にカンファレンスに参加していないから。 今年の7月まで勤務日数が少なく、家族様と関わる機会が少なかったから。 利用者様の気持ちを考えられていない。 職種上、カンファレンスにあまり参加できていない為。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>カンファレンスに積極的に参加し、参加できない場合は、事前に利用者の方一人に対して気づきを一つ書き出してカンファレンスで参加者に発表していただく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 9月 26日～ 10月 24日

6. 連携・協働

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画	会議自体に消極的になってしまいがちの為、まずは会議の概要から興味を持ち、将来的に会議に参加する意識を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	どのような会議があるのか興味を持つようにした。 外部サービス機関との会議に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1	2	2	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	5	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	2	2	1	3	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	4	0	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の行事には参加している。 事業所間の交流の場や町内会のイベントに参加している。 他のサービス機関との会議を行った。 退院した利用者に関して移乗などの対応に関して説明を受けたり仕組みを聞いた。 自治会主催の活動に参加した。 会議にはほとんど参加している。 登録者以外の地域住民等が事業所でボランティアやイベントに参加している。 事業所で認知症カフェを開催できないか、近隣の認知症カフェに参加し、地域包括支援センターや法人・事業所と検討・相談した。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>勤務の為、会議に参加できていない。 会議参加への意欲がない。 会議に参加したいがタイミングが合わない。 今年の7月まで勤務日数が少なく、家族様と関わる機会が少なかったから。 会議参加に対して積極性に欠けていた。 いつ・どんな会議があるのかを把握できていないから。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
各会議の開催日を把握し、積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 9月 26日～ 10月 24日

7. 運営

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	3人	8人

前回の改善計画	カンファレンスの時に事業所の運営やあり方について、外部から求めた意見を話し、それを基に1人1つ発言をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンス時に事業所の運営やあり方に外部からの意見を伝え、共有した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	3	0	3	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	3	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	1	2	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	0	3	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>運営推進会議に参加した。 地域・家族・介護者の意見・苦情を反映している。 利用者・家族・介護者からの意見や苦情を反映させようとしている。 利用者・家族からの要望があれば報告できている。 カンファレンスの時に意見を出したり、それ以外でもFTを活用して意見を出せている。 地域と協働した行事に参加した。 カンファレンス時に事業所の運営やあり方について発言できた。 運営推進会議の資料や会議内で挙げた意見等をカンファレンス時に参加できなかった職員にお知らせした。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>苦情など発言する場所がない。 積極的に意見を出していないから。 外部から求めた意見を自分がしっかりと理解していない。 カンファレンスに参加する機会があまりなかったから。 地域の行事に積極的に参加できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>運営推進会議に利用者の方・ご家族様にも参加を促し、意見・要望を募り、事業所の運営や活動・支援につなげる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 9月 26日～ 10月 24日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	1人	3人	8人

前回の改善計画	年に1回の研修の受講をする他、地域連絡会にも年に1回参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域連絡会には参加できなかったが、研修の受講を受けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	3	1	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	1	1	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	3	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内の研修に参加した。 研修に参加している。 資格取得に関する研修に参加した。 業務上、発生する可能性があるリスクに対しての予防の徹底。 外部の研修に参加した。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 参加する時間がない。 参加意欲がない為。 地域連絡会に参加したいのだが、業務等でのタイミングが合わない。 今年の7月まで勤務日数が少なく、家族様と関わる機会が少なかったから。 会議・研修に対して積極性が持てていなかった。 常にどのようなリスクが利用者様一人一人にあるのか考える事が出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 資格取得やスキルアップをする為、年1回は研修の受講をする他、事業所連絡会や事業者連絡会に参加した事がない場合は参加する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 9月 26日～ 10月 24日

9. 人権・プライバシー

メンバー 職員 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	0人	3人	8人

前回の改善計画	今までに成年後見制度について研修を受けた職員が職場内研修として講師を行い、職員全体で制度について理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見人制度の研修を受け、制度について理解した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	3	0	0	8
②	虐待は行われていない	6	2	0	0	8
③	プライバシーが守られている	5	3	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	1	1	3	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	3	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>良く出来ている。 利用者に対する虐待を行っていない。 身体拘束や虐待は行わないように努めている。 個人情報になるような内容を記録に残さないよう配慮している。 利用者の尊厳を保つよう意識している。 成年後見制度についてではないが社内研修の講師を担った。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>成年後見制度の研修を受けていないので社内講師として研修できない為。 成年後見制度をいざれ活用しなければならない状況になっていない。 講師として職場内研修を行っていない。 成年後見制度が必要だと思う利用者があるかどうか分かっていないから。 制度に対する知識が少ないから。 時間に余裕がなくて焦っている時に出してしまう。 家族関係を深く知らないから。 職種が違う為、制度を活用できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>成年後見人制度について研修を受けた職員が職場内研修として年2回講師を行い、受講者は1回は受講する。</p>	